

SDGsから見た マクドナルド

SDGs（17の持続可能な開発目標）を検討し、社会が直面する課題の中でマクドナルドがポジティブな変化を起こせると考える6つのゴールについて紹介します。

http://www.mcdonalds.co.jp/scale_for_good/sdgs/#01



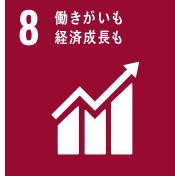
SUSTAINABLE GOALS



目標2

飢餓をゼロに

安全で栄養価が高く十分な食糧の提供には、持続可能な食料システムとより柔軟な農業慣行を必要とします。マクドナルドは、生産地から店舗に至る過程の中で環境と地域社会、そして私たちにとってより良い方法で調達を行い、美味しい商品を提供することをコミットしています。



目標8

働きがいも 経済成長も

持続的かつ包括的な社会の成長には、特に若者の成長が不可欠です。マクドナルドは、働き甲斐のある仕事や、店舗やオフィスで価値ある啓発の機会を提供することにより、地域社会における多様性と包摂性を促進する考えています。



目標12

つくる責任 つかう責任

持続可能な調達を行うためには、天然資源を効率的に使用し、人々や地球環境に与える影響に配慮する必要があります。マクドナルドは、調達後の廃棄物の問題を含め、循環型社会を支援することを目指しています。



目標13

気候変動に 具体的な対策を

気候変動は、私たちの時代における重大な環境問題であり、世界中のすべてのコミュニティそして生態系に影響を与えます。マクドナルドは、世界最大のレストラン企業のひとつとして、差し迫ったこの問題に対して現在と将来の世代のために取り組みを進めます。



目標15

陸の豊かさも 守ろう

世界は森林減少の脅威にさらされており、これに伴う温室効果ガス排出量は全体の15%を占めると推定されています。マクドナルドは、サプライヤー、政府、生産者、NGO、NPOと協力し、地球環境に有益な責任ある林業と生産慣行の支援推進に努めています。



目標17

パートナーシップで 目標を達成しよう

私たちの規模を活かした社会・環境上の課題への取り組みを推進するためには、マクドナルド社内だけでなく、従業員、フランチャイジーやサプライヤーから投資家、行政、NGO、NPO、そして専門家に至るパートナーシップを構築して臨むことが必須であり、持続可能な社会につながると考えています。

マクドナルドとSDGsの関係



http://www.mcdonalds.co.jp/scale_for_good/sdgs/#02

